

# 市病に放射線治療装置「ライナック」設置

多様化する放射線治療のニーズにこたえ、「より正確で効果的な治療」を目指し、市立総合病院では最新の放射線治療装置「ライナック」を導入しました。患部を集中的に治療することが可能なほか、放射線による正常部位への副作用も最少限にとどめることができます。

的確に照射し

時間は短縮

悪性腫瘍などの放射線療法に威力を発揮する最新鋭のライナック(線型加速装置)が、四月十九日から稼動することになりました。

この装置は、コバルトのような放射線源を使用するタイプのものではなく、高周波の電界によって電子を直線的に加速させるもので、病巣に応じて放射線の種類とエネルギーを選択できるのが特徴です。

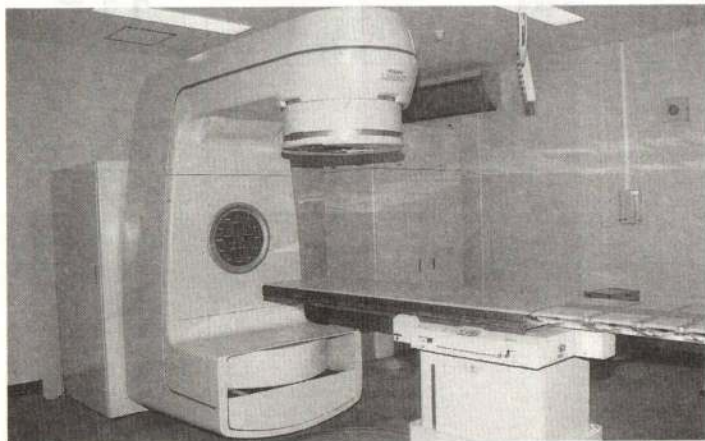
X線が二段切り替え、電子線が五段切り替えと、幅の広い選択ができ、体内の浅い個所にある病巣から深い病巣まで、正確に照射することができ、また、治療に要する時間も、これまでの三分一程度(二分前後)にまで短縮されます。

## 治療計画装置・

## シミュレーター

同時導入は県北初

今回、ライナックと一緒に治療計画用コンピュータとX線シミュレーターを導入しました。コ



ンピューターは、ライナック治療の前に、照射に必要なデータや、照射すべき範囲、形状等をCT像から入力し、計算するようになっている。病巣を的確に把握したこの治療計画に基づいて、シミュレーターにより精度の高い位置決めがなされ、治療が行われることになりました。この三つが同時に導入されたのは県北で初めてのことで、これまで弘前市や秋田市まで足を運ばなければならなかった放射線治療を、市立病院で受けられるようになります。今後みなさんの健康を守るため一層の医療充実を図ります。

## 新スタッフ配置。まちづくりに全力

# 市職員人事異動

市では、四月一日付で職員の人事異動を行いました。退職者の補充を主体としながら、同じく一日付で実施した行政機構の改正にも連動しての配置替えとなりました。大型プロジェクトに対応するため、企画部を新設したのをはじめ、課の新設・廃止、係の分割・統廃合などを実施したのに合わせ、広く人材を活用することで、組織の活性化を図ってまいります。新スタッフによりよいまちづくりを進めます。課長級以上の人事異動は次のとおりです。

### ◇ 市長事務部局 ◇

企画部長 浅野 七郎  
 総務部長 下遠 重吉  
 産業部長 渡辺 健次  
 建設部長 山内 常男  
 企画調整課長 蛇川 秋彦  
 企画調整課主幹 高畑 建志  
 (広域市町村圏組合派遣)  
 地域振興課長 山本 貢  
 (兼秋田短期大学誘致準備室長)  
 財政課長 青柳 紀男  
 収納課長 松橋 耐介  
 検査課長 阿部 進作  
 保険課長 安達 正則  
 商工課長 長岐 利堅  
 都市開発課長 高清水 徹

### ◇ 教育委員会 ◇

総務課長 岩谷 満夫  
 学校教育課長 吉成 尚親  
 (兼教育研究所長)

### ◇ 生涯学習課長 ◇

生涯学習課長 佐藤 洋三  
 中央公民館長 野口 洋一

### ◇ 市立総合病院 ◇

放射線科部長 山田 幸夫  
 (兼第一内科副部長)  
 第二内科副部長 水尻 栄  
 小児科医長 北澤 淳一  
 外科医長 大石 晋  
 整形外科医長 桜田 純人  
 産婦人科医長 横山 良仁  
 第一内科医長 清野 聡  
 麻酔科医長 工藤 明  
 (看護部)  
 副看護部長 小林 花子  
 第7病棟看護婦長 正田 恵子  
 神経精神科病棟看護士長 佐藤 喜勇

### ◇ 事務局 ◇

事務局長 庄司富佐男